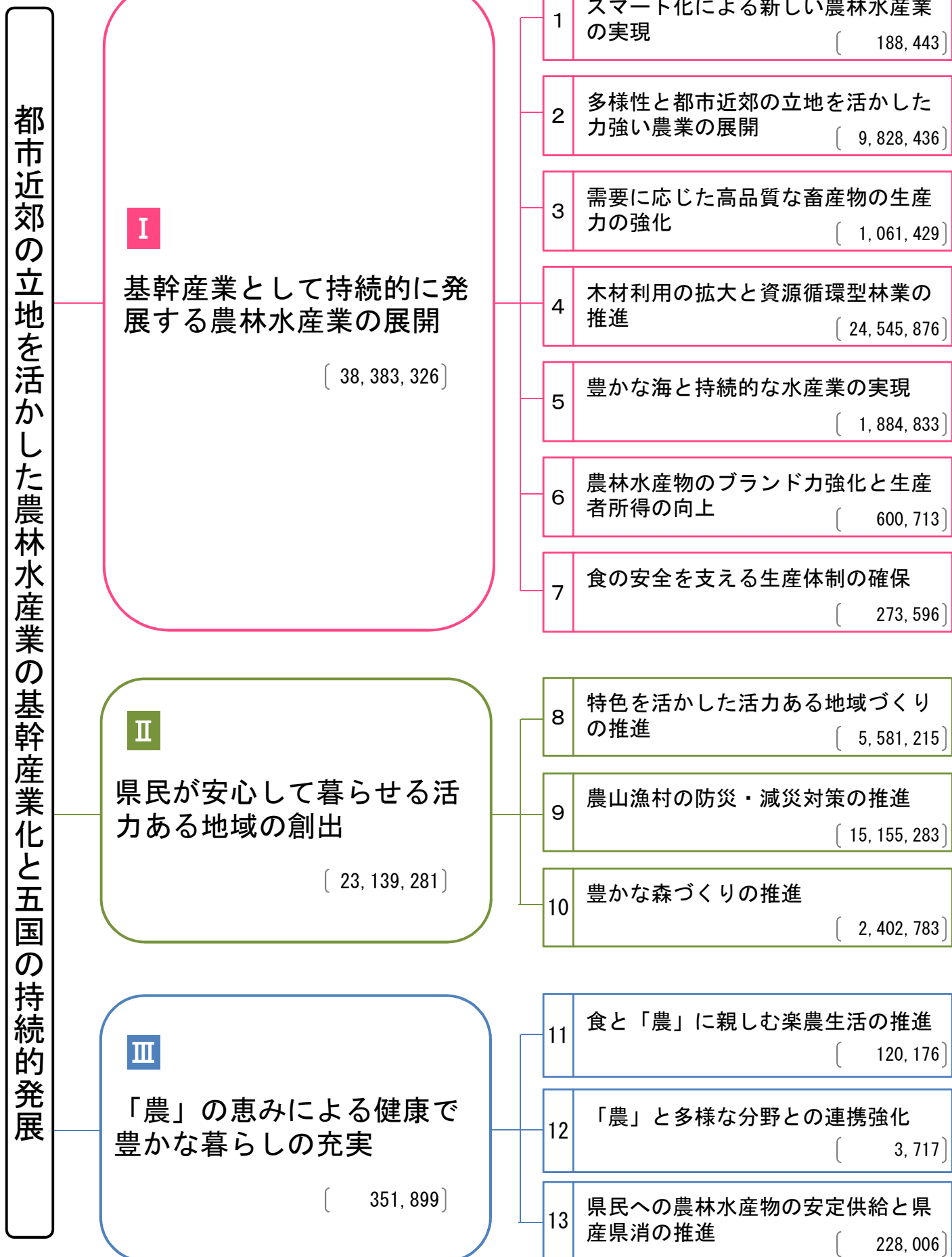


令和6年度当初予算要求概要について

令和6年1月
農 林 水 産 部

令和6年度 農林水産部（農林水産関係）重要施策体系表

(単位：千円)



	<p style="text-align: center;">施策の目的と概要</p>
<p>農 林 水 産 施 策 の 総 合 的 推 進</p>	<p>施策展開方向</p> <p>SDGs（持続的な開発目標）の達成に向けて持続可能な農林水産業を展開すべく、都市近郊の立地を活かし、地域の経済と雇用を支える基幹産業化に資する取組を推進する。</p> <p>このため、コスト構造の改革に加え、カーボンニュートラルも見据えた環境負荷の低減や、有機農業の担い手育成に取り組むとともに、多様な人材の地域農業への関わりを創出することにより持続可能な地域づくりを推進する。</p> <p>さらに、県産農林水産物の付加価値を高め、国内・海外市場での流通・販売を拡大していくために、2025年大阪・関西万博を好機と捉え、オープンファームなど地域に人を呼び込む取組や、CSAなど生産者と消費者が支え合う関係づくりを進め、消費者理解の醸成を図る。</p> <p>【めざす姿】（ひょうご農林水産ビジョン2030（計画期間：2021～2030年度））</p> <div style="text-align: center; background-color: #e6f2ff; padding: 10px; border: 1px solid black;"> <p>御食国ひょうご 令和の挑戦</p> <p>～都市近郊の立地を活かした農林水産業の基幹産業化と五国の持続的発展～</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>I 基幹産業として持続的に発展する農林水産業の展開</p> <p>スマート化による効率化、製品毎のブランド力の強化、多様な人材が農業を支え合う地域協働体制の構築、販売チャンネルの多様化、海外市場の開拓等により、基幹産業として持続的に発展する農林水産業を展開する。</p> <p>【農 業】 都市近郊の立地を活かし、施設野菜などの生産拡大や、農業の法人化と経営力の強化、企業参入による次代を牽引する担い手の育成、農地の集積・集約化等を進め、環境創造型農業の推進など実需と結びついた競争力の高い農業を展開する。</p> <p>【畜産業】 但馬牛繁殖雌牛の増頭による但馬牛・神戸ビーフの生産体制の強化、需要に応じた生乳生産等を進め、安全・高品質な畜産物の生産強化を推進する。</p> <p>【林 業】 人工林の適正な経営管理のもと、県産木材の利用促進を図り、植林・保育・伐採・利用の林業サイクルが継続する資源循環型林業を構築する。</p> <p>【水産業】 適正な栄養塩類管理等による豊かで美しい海の再生、経営感覚に優れ意欲ある漁業者等の育成による収益性の高い力強い漁業を確立する。</p> <p>II 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出</p> <p>地域ぐるみの共同活動や地域資源の活用などによる中山間地域の農村コミュニティの活性化や、災害に強い安全・安心な農山漁村の暮らしの確保、防災機能など森林の公益的機能の向上等により、県民が安心して暮らせる活力ある地域を創出する。</p> <p>III 「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実</p> <p>「楽農生活」のさらなる推進や農福連携等多様な分野との連携強化により、ひょうご五国の特徴ある多自然地域や農林水産業の維持・活性化を図る。</p> <p>また、安全・安心で安定的な県産農林水産物の供給体制を強化し、「農」の恵みによる県民(生活者)の健康で豊かな暮らしの充実を推進する。</p> </div>

基本 方向	施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
		188,443	80,500	32,140	18,400	57,403

1 スマート化による新しい農林水産業の実現

(1) スマート農業の展開

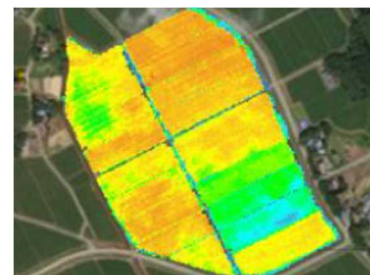
ア 兵庫型スマート農業技術の開発・実証

生産性の向上と產品の高品質化等を図るため、ICTやセンシング技術などの活用や県独自の技術開発を推進。

イ スマート農業の普及・定着推進

(ア) web上に構築したプラットフォームにおいて、産地課題や企業の有するスマート農業技術の集約・情報発信を充実し、産地と企業のマッチングを進め、地域の課題解決や経営改善を図る。

(イ) データ活用によるスマート農業の導入を促進するため、各産地で技術普及の核となる人材を育成。



センシングによって得られた生育状況マップ（加古川市）

[参考]

指 標	現状(R4)	中間(R7)	目標(R12)
施設園芸における高度な環境制御技術の導入面積 (ha)	26	41	60
土地利用型作物等における主なスマート農業技術利用面積(ha)	5,680	6,000	12,000
畜産における主なスマート畜産技術導入経営体数	81	51	70

施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
	9,828,436	5,432,377	1,281,480	1,926,700	1,187,879

2 多様性と都市近郊の立地を活かした力強い農業の展開

(1) 本県の強みを活かし需要と直結した生産の新展開

ア 収益性の高い施設園芸の推進

温度や湿度等の栽培環境を最適化する環境制御技術の導入を図り、収量や品質の向上につなげるため、経営規模に応じた施設整備や機器導入を支援するほか、現地での実践研修と座学を組み合わせた体系的な研修会を開催。

イ 産地の育成・拡大等による野菜の生産拡大

「たまねぎ」など国や県の野菜指定産地のほか、集落営農組織や農協が各地域で取り組む「えだまめ」や「ねぎ」等の新規産地の生産拡大を推進。

ウ 温暖化等気象変動に対応した良食味米の育成

J Aグループ等と連携し、高温耐性があり、キヌヒカリ並の熟期で食味に優れた品種を令和7年度から販売開始できるように育成。あわせて、スムーズな普及拡大のためのプロモーションを実施。

エ 品質の高い酒米の安定供給と需要拡大

(ア) 温暖化等の影響による酒米の品質低下に対応するため、アプリを活用した刈取適期の判別技術など品質向上技術の導入を推進。

(イ) 県産酒米・日本酒の更なるブランド力強化を図るため、日本酒の有機JAS認証制度の開始を踏まえ、有機等こだわり日本酒生産を推進。

(ウ) 輸出促進セミナーや海外バイヤーとの商談会開催のほか、輸出向け日本酒の商品開発やコンテスト出品等への支援により、国内外に県産酒米と日本酒の魅力を発信。

オ 水田収益力の強化

県内食品事業者等の需要が高いもち麦・醤油醸造用の大豆・飼料用米等の新たな作付の取組を支援し、水田のフル活用により生産者の経営安定と収益力強化を推進。



環境制御技術導入施設での研修（宍粟市）

(2) 次代を担う経営力の高い担い手の育成

ア 法人化と法人経営の強化等による持続可能な経営体の育成

- (ア) 法人化や雇用拡大、経営継承、経営の多角化・高度化に取り組む農業経営体に対し、専門家派遣とあわせて、労働環境の整備、税理士や営業・販売に長けた専門人材などの確保、スマート機械等の導入を支援。
- (イ) 経営の多角化による所得の向上に向け、地域に人を呼び込み、ひょうごの「農」への消費者理解を深める「オープンファーム」の取組を支援。

イ 集落営農の組織化と経営力の強化

- (ア) 農業改良普及センター等の県職員や県民局に配置した集落営農育成員等による地域計画策定等の話し合いの場を契機とした組織化・法人化を推進。
- (イ) 経営力強化に向けた集落営農計画の作成や共同利用機械等の導入、集落営農リーダー・オペレーター育成、人材確保に向けた就農相談会への参加の促進、非農家を含む多様な地域人材の発掘活動等を支援。



R5 就農希望者向けセミナーの開催
(神戸市国際会館)

ウ 地域ぐるみの新規就農者の確保・定着支援

農業とくらし両面の支援情報をパッケージで提案・発信する取組の拡大に加え、外部人材受け入れに係る地域の合意形成、地域への溶け込みや経営継承の環境整備など、地域主導で円滑な就農・定着をサポートする取組を支援。

エ 企業による農業参入・参画の促進、参入企業の育成

就農支援センターに配置の企業専門相談員による企業の多様なニーズに即した伴走支援により、円滑な農業参入や、農業者との連携による地域農業への継続的な参画を促進。

(3) 農地利用の最適化と効率的な生産基盤、多様な人材が支え合う地域協働体制の確立

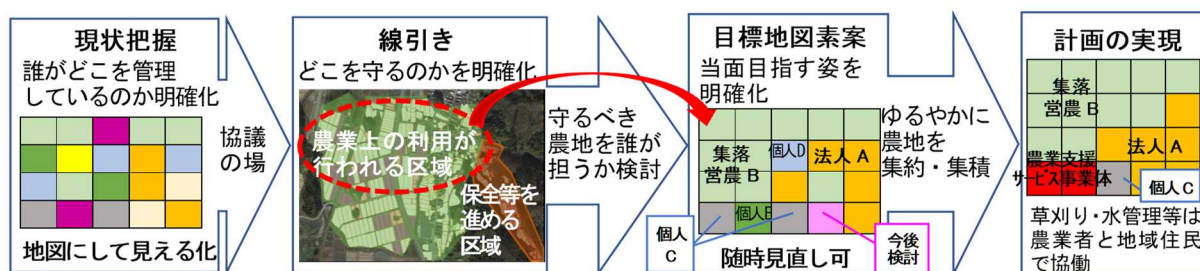
ア 優良農地の確保

農地法や農業振興地域の整備に関する法律など農地制度の適正な運用により、計画的で秩序ある土地利用を推進。

イ 地域計画の策定の推進

- (ア) 本庁・県民局に設置した部局横断のチームによる農地・担い手関連施策の地域への一体的働きかけに加え、広域での話し合いの事例や効率的な地図作成の手法など計画策定に係る共通課題への対応策や優良事例の共有を図る市町担当者向け研修会の開催等により、計画策定を担う市町の取組を支援。
- (イ) 地域住民の話し合いや合意形成の支援を専門とする「ひょうご地域計画推進アドバイザー」(愛称：農×ミライよりそい隊)を、県・関係機関職員OBや、JA営農指導員、認定農業者、NPO等の中から育成・確保し、市町での積極的な活用を促すことで、計画策定の円滑化と加速化を推進。

「地域計画」策定・実現の流れ

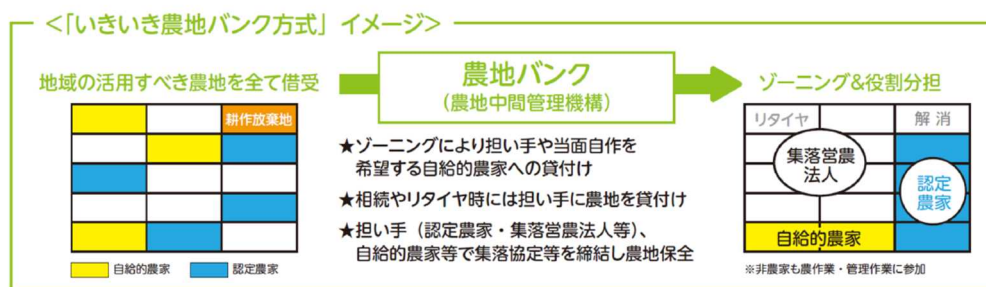


ウ 農地の集積・集約化の推進

- (ア) 地域計画の実現に向けた農地バンク（農地中間管理機構）の利用による担い手への農地の集積・集約化を、担い手の確保・育成や地域の役割分担による農地保全とあわせて推進。
- (イ) 「農地整備 10 箇年推進プログラム」に基づき、農地の整備と一体的に農地集積・集約化を実施。整備では、スマート農業を見据えたほ場の大区画化や ICT を用いた給排水の自動化に加えて、水稻に代わる高収益作物導入のための暗渠排水工（農地の排水改良）を推進。

エ 地域の多様な人材が支え合う持続可能な地域協働体制の確立

集落合意と担い手・地域の役割分担により、農地バンクを活用しながら地域全体で農地の有効利用や水路・農道の保全活動を図る「いきいき農地バンク方式」の取組を推進するため、地域の話し合いのコーディネート活動のほか、小規模農家の作業委託等を通じた当面の営農継続や、将来の担い手の呼び込みを図る活動等を支援。



(4) 環境創造型農業（人と環境にやさしい農業）の取組拡大

ア 有機農業を含む環境創造型農業推進施策検討会の運営

令和5年度に設置した外部有識者等からなる検討会での議論を踏まえ、担い手育成や販路拡大、消費者の理解醸成に向けた取組を推進。

イ 肥料等の利用低減体系の構築推進

地域に適した環境創造型農業技術（土づくり技術、化学肥料・化学合成農薬低減技術）の体系を確立し、栽培暦等に反映して普及を図るJA等を支援。

ウ 有機農業の取組拡大支援

- (ア) 県立農業大学校に有機農業専攻コース（1年制、定員：10名程度）を整備し、有機農業の担い手育成を強化。
- (イ) 一定規模以上の慣行農業の経営体を対象に、有機農業への転換を支援し、地域における有機農業のモデル経営体として育成。
- (ウ) 有機農業指導員の育成、有機農業を志向する就農希望者と親方農家とのマッチング、市町が主体となる有機農業産地づくり等を推進。
- (エ) 有機農業に対する県民の理解醸成を図るため、有機農業栽培体験や情報発信を行う団体への支援を実施。

[参考]

指標	現状(R4)	中間(R7)	目標(R12)
施設野菜生産量(t)	18,814	24,400	27,100
法人経営体数(法人)	796	910	1,170
新規就農者(15才以上49才以下)(人)	270	300	300
担い手への農地集積率(%)	26	48	66
パイプライン化した農地面積(ha)	12,250	12,700	13,200
環境創造型農業取組面積(ha)	20,093	22,800	24,600

施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
	1,061,429	543,990	276,823	11,200	229,416

3 需要に応じた高品質な畜産物の生産力の強化

(1) ひょうごの畜産を支える多様な担い手の確保

畜産参入支援センターを通じた施設用地の掘り起こし等により法人や個人の参入、既存畜産農家の事業拡大を支援。

(2) 但馬牛の増頭と神戸ビーフの生産拡大

ア 繁殖雌牛の増頭と肥育素牛の生産拡大

新規就農者や規模拡大者に対して牛舎・機械整備や雌牛導入等を支援。

また、兵庫県但馬牛受精卵移植推進協議会を通じて酪農家に但馬牛受精卵を供給するなど、乳用牛等への受精卵移植を推進し、神戸ビーフの肥育素牛を増産。

イ 但馬牛の改良と但馬牛・神戸ビーフの品質強化

ゲノム情報を活用した但馬牛改良によって新たな系統分類を確立し、城崎系や熊波系などの希少系統の導入・保留を促すことで遺伝的多様性を確保するとともに、効率的に美味しさや分娩間隔などの経済的能力の向上を促進。

ウ 但馬牛のPR強化と神戸ビーフの需要拡大

(ア) 但馬牛のPR

世界農業遺産「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」(令和5年7月認定)への理解醸成を図るため、県立但馬牧場公園を核とした取組を充実。

また、展示物等の更新、多言語化により、県内外からの誘客を促進。

(イ) 神戸ビーフの一層の需要拡大

和牛マスター食肉センターを主体とするコンソーシアムが進める動物福祉への対応や、欧米向けプロモーションを引き続き支援するとともに、神戸市立食肉センター等で構成されるコンソーシアムが行う台湾向けプロモーションを支援。



ふるさと「美方地域」の宝、但馬牛

(3) 牛乳・乳製品の生産基盤強化

生乳の生産性向上を図るため、高能力牛の導入や優良雌判別精液・受精卵の活用により優れた後継牛の確保を推進。

また、収益性向上を図るため、乳牛への但馬牛受精卵の移植により価格面で有利な但馬牛子牛生産を進めるとともに、需要が伸び悩む牛乳の消費拡大を促進。

(4) 鶏卵・鶏肉・豚肉のブランド化

輸入トウモロコシの代替飼料として飼料用米を給与した鶏卵「ひょうごの穂々笑実」等を国内外の展示・販売会に出展するなど需要拡大を推進。

他産地との差別化を図るため、食品残さを原料とした飼料(エコフィード)を給与して生産する「ひょうご雪姫ポーク」等の個性・特長ある畜産物の生産を推進。

(5) 耕畜連携・飼料対策の推進

世界的な穀物需要のひっ迫や円安等の影響による輸入飼料や肥料の価格高騰を受け、耕畜連携による飼料の増産を進めるため、飼料生産や家畜堆肥の利用にかかる設備・機械の導入を支援し、飼料・肥料の輸入依存度の低減を推進。

また、飼料価格高騰の影響を緩和するため畜産農家に一時支援金を支給し、負担を軽減。

[参考]

指 標	現状 (R4)	中間 (R7)	目標 (R12)
但馬牛繁殖雌牛頭数(頭)	13,993	15,200	16,000
生乳生産量(t)	75,286	84,100	96,000
県認証食品(鶏卵・鶏肉・豚肉)の生産量(t)	22,956	26,600	29,400

施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
	24,545,876	2,343,335	20,293,829	1,204,300	704,412

4 木材利用の拡大と資源循環型林業の推進

(1) 県産木材の利用拡大と加工流通体制の強化

ア 県産木材の利用拡大

- (ア) 県産木材の県民への認知度向上を図るため、民間企業との検討会を設置し、県産材のブランディングを促進。
- (イ) 木造住宅の県産木材の使用率を高めるため、横架材(梁・桁)等に県産木材を使用する住宅の設計費を支援。
- (ウ) 民間建築物等の非住宅建築の木造・木質化を促進するため、木造設計技術等を習得するセミナーの開催等により、木造建築を推進する建築士を養成。



非住宅建築(ショッピングモール)の木質化(神戸市)

イ 県産木材の安定供給体制の強化

林内路網の基盤整備や高性能林業機械等の導入を支援するとともに、燃料用材となる未利用木材の活用のため、効率的な集材方法の普及や木材の仕分けやストック機能を備えた土場の整備を推進。

(2) 森林資源の循環利用と林業経営の効率化

ア 林業の担い手確保と育成

持続的な林業経営の実現に向け、林業労働力確保支援センターと連携した就業支援講習やガイダンス等により新規就業者を確保するとともに、県立森林大学校においてエキスパート人材を育成。

イ 人工林のゾーニングと適正な整備の推進

航空レーザー測量から得られた樹種、樹高、本数等の森林資源情報データを活用し、林業経営に適した人工林等のゾーニング(分類)により、地域の実態に応じた主伐、間伐等の整備を一層推進。

ウ 主伐・再造林の推進

主伐等の作業工程や収益性等の分析により策定した「主伐・再造林低コスト普及モデル」の普及を図るとともに、国の新たな花粉症対策事業の活用により、森林資源の循環利用を推進。

エ 市町へのJクレジット制度の取組支援

(ア) クレジット発行支援

森林整備による二酸化炭素吸収量をクレジット化し、その収益で森林整備を促進するため、大規模公有林を保有する市町を対象に、CO2吸収量算定や収益性の試算等のクレジット発行への取組を支援。

(イ) クレジット販売支援

脱炭素に取り組む県内企業等に対して、企業(下流)と森林(上流)とのマッチング説明会等の開催により、県内におけるカーボンオフセットを推進。



オ 分収造林事業のあり方検討

事業のあり方検討委員会における意見を踏まえ、県民負担をできるだけ軽減した債務整理方法や持続可能な新たな森林管理スキームを検討。

[参考]

指 標	現状(R4)	中間(R7)	目標(R12)
県内素材生産量(千m ³)	593	527	623
主伐・再造林面積(ha)	31	50	120

施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
	1,884,833	532,427	263,733	468,100	620,573

5 豊かな海と持続的な水産業の実現

(1) 豊かで美しい海の再生と水産資源の適正管理

ア 適正な栄養塩類管理の推進

漁業者による海底耕うんやため池のかいぼりのほか、漁場への効率的な栄養添加等の試験を通じて、生物生息環境の保全・回復を推進。

イ 豊かな海の再生に向けた新たな栽培漁業の展開

(ア) 海底の有機物を分解し栄養塩類を放出するなど“豊かな海再生種苗”として期待されるナマコ、クマエビの本格的な生産・放流を実施。

(イ) 漁獲量の減少から要望が強いマダコを対象に、種苗生産技術の開発に取り組み、マダコ資源の回復を目指す。



有機肥料による栄養添加試験
(波打ち際への埋設) (淡路市)

(2) 漁業の担い手確保と経営力の強化

ア 経営感覚に優れた後継者等の確保・育成

漁船などの貸与制度により、新規漁業就業者等の設備投資にかかる負担を軽減するとともに、人材育成に向け漁業現場での長期研修等を支援し、次世代を担う漁業者や沖合漁船漁業の新規船員の育成・確保を推進。

イ 漁業者の所得向上

収益性の高い養殖業を推進するため、ノリやワカメ、サーモンなどの新技術の開発に取り組む。また、国リース事業等を活用した沖合底びき網漁船等の建造やノリ養殖施設の整備など、低コスト化や作業の効率化による収益性の向上を図る。

(3) 流通拠点の機能強化

播磨地域の流通拠点漁港である妻鹿漁港（県管理第2種漁港）において、衛生管理対策及び陸揚作業の軽労化を目指した屋根付き浮桟橋等の整備に着手（令和9年度完成予定）。

(4) 「海業」の推進による漁村地域の活性化

人口減少や高齢化の進行など漁村地域の活力低下に対し、漁港を活用したマリンレジャーなど海や漁村が有する価値や魅力を活用することで、地域に所得と雇用を生み出す「海業」を推進。国のモデル地区に指定された居組漁港等において、事業計画の策定など地域主体の取組を支援。

[参考]

指 標	現状 (R4)	中間 (R7)	目標 (R12)
漁船漁業・海面養殖生産量(千t)	105	115	119

施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
	600,713	548,855	24,596	0	27,262

6 農林水産物のブランド力強化と生産者所得の向上

(1) 更なるブランド戦略の展開

ア 県内スーパー等での販売拡大支援

人口が多い神戸・阪神間で県産農畜水産物の販路拡大を図るため、量販店等への出荷に対応する新たな広域配送ルートモデルづくりや店頭でのPR活動を支援。

また、兵庫県認証食品の登録飲食店等でのPR活動を実施。

イ 国内での販路拡大支援

(ア) 関西圏の外食チェーン店や、神戸・阪神間の飲食店で県産農林水産物を使用した兵庫県フェアを開催。

(イ) 地域商社を介して、実需者と生産者のマッチングを行い、規格外品の利用など SDGs に配慮した商品の開発を行うとともに販路拡大を図る。

ウ 海外向けの展開

香港及びEU(フランス)では、食品展示会への出展等により、マレーシアでは、シェフやバイヤー等を参集したレストランフェアでの知事トッププロモーションにより販路を拡大。

<輸出品目>

日本酒、神戸ビーフ、コウノトリ育むお米、淡路島たまねぎ、朝倉山椒、丹波黒大豆、兵庫のり、明石鯛、播磨のかき等



県産農産物を使用した
兵庫県フェアのポスター

(2) フードチェーンづくりとブランド強化の支援

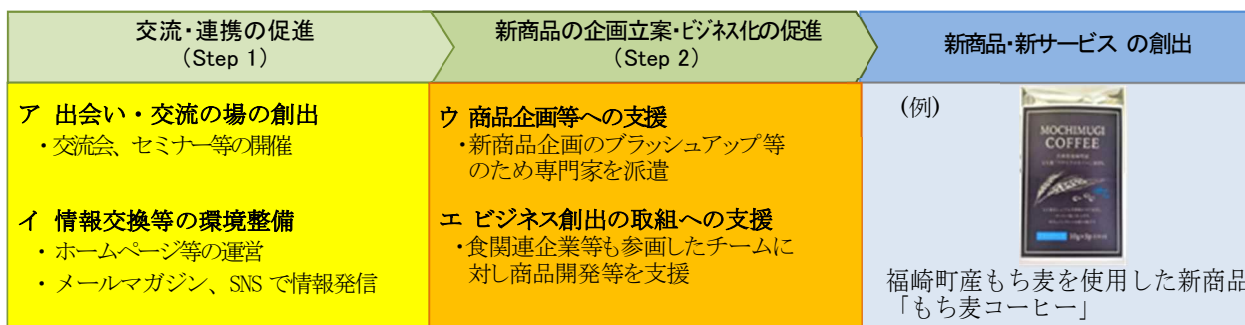
各農業改良普及センターが、地域で産地品目の将来像を描き、その実現に向けて生産技術の普及指導や需要創造、担い手育成などの支援を行い、生産・加工・流通・販売・消費を結びつける新たな仕組み（フードチェーン）づくりを推進。

また、歴史や文化を結び付けた地域特産品等のブランド強化や SDGs に沿った取組を推進。

(3) 「農」イノベーションひょうごの推進

県産農林水産物の新たな価値を創造し、生産者の所得向上や地域活性化に結びつけるため、専門家派遣や、農林漁業者と多様な分野との異業種連携の促進等、ビジネス創出の取組を支援。

ビジネス化への発展段階別支援のイメージ図



[参考]

指 標	現状 (R4)	中間 (R7)	目標 (R12)
海外市場開拓数(品目毎の累計)(国・地域)	173	200	250

施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源			
		国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
	273, 596	113, 858	8, 600	42, 200	108, 938

7 食の安全を支える生産体制の確保

(1) 安全で適正な農薬使用の推進

生産現場での残留農薬検査を推進するとともに、農薬適正使用研修会の開催、農薬販売者等への立入指導、農薬管理指導士の育成などを通じ農薬取締法等の遵守を徹底し農薬の安全かつ適正な使用を推進。

(2) 生産段階における適正な生産工程・衛生管理等の導入拡大

GAP や HACCP の取組を推進するとともに、県が県産食品の安全・安心及び個性・特長を確認し、認証する「兵庫県認証食品」の生産・流通・消費の拡大を図る。

(3) 畜産農場における GAP 取得や HACCP 対応の推進

畜産 GAP や HACCP の考え方を生産現場に取り入れるとともに、これらの認証取得を推進。

(4) 鳥インフルエンザ、豚熱、口蹄疫等重大家畜伝染病の発生・まん延防止

重大家畜伝染病の検査や飼養衛生管理基準の遵守指導の強化等、発生予防対策を徹底。

また、重大家畜伝染病の発生に備え、農場ごとの防疫作業及び焼却処分計画のより実効性の高い内容への更新、埋却処分予定地の現況調査など、防疫対策を強化。



養鶏農家等を対象とした防疫研修会
(姫路市)

(5) 安全安心な二枚貝の流通に向けた貝毒監視体制の整備

マガキやアサリ等の二枚貝の貝毒蓄積状況や原因プランクトンのモニタリングを強化し、県民へ適切な情報を発信。

[参考]

指 標	現状 (R4)	中間 (R7)	目標 (R12)
兵庫認証食品認証数(品目)	2,347	2,300	2,400

基本
方向

施策の目的と概要

所要経費
の要求額

財 源

内 訳

起 債

一般財源

5,581,215

3,883,686

233,141

695,600

768,788

8 特色を活かした活力ある地域づくりの推進

(1) 中山間地域における地域活性化の推進

中山間地域での農地の耕作放棄を防止し、農業生産力や多面的機能を維持するため、条件が不利な農地での生産活動を支援。

(2) 農村地域の多面的機能発揮の促進

ア 多面的機能を有する農地や水路の地域ぐるみの保全活動を支援。

イ 地域資源でもあるため池・疏水が、次世代へ引き継がれるよう、「ため池保全県民運動」として、小学校での地域学習や漁業者と連携した「かいぼり」を支援するとともに、ため池の治水利用の取組を推進。



活動組織による水路の点検・診断
(多可町)

(3) 都市農業を核とした地域づくりの推進

ア 関係市町の都市農業振興基本計画策定を推進するほか、特定生産緑地制度や都市農地貸借法、防災協力農地制度について市町等へ情報提供を行い、多様な主体による農地の活用を推進。

イ 癒やしの緑地空間、地域の交流の場、防災・福祉的活用等、都市農地のもつ多様な機能を活かした地域の取組を支援するとともに、県民の都市農業の機能・役割への理解促進のための情報発信や学習講座を実施。

[参考]

指 標	現状 (R4)	中間 (R7)	目標 (R12)
中山間地域等直接支払交付金の取組面積 (ha)	5,825	5,700	5,800

II 県民が安心して暮らせる活力ある地域の創出

施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
	15, 155, 283	9, 094, 091	324, 925	5, 265, 200	471, 067

9 農山漁村の防災・減災対策の推進

(1) ため池災害等の未然防止と避難対策の推進

ア ため池の健全度把握と適正管理の推進

決壊すると人命・財産に被害を及ぼすおそれがある特定ため池（約 8,600 箇所）を対象に定期点検を実施し、健全度や管理状況を把握。

決壊リスクが高まっているため池については「ため池保全サポートセンター」が巡回点検・指導を行うなど、利水者による適正な管理を支援。

イ ため池防災工事の実施

定期点検や耐震調査から早急な防災対策が必要と判定され優先度の高い 465 箇所について、「兵庫県ため池防災工事等推進計画（R3～R12）」に基づき改修・廃止工事を集中的かつ計画的に実施。

ウ 減災・避難対策の促進

ため池の治水活用による減災対策やハザードマップを活用した避難対策のほか、監視体制を強化するため水位等の遠隔監視システムの導入など ICT の活用を推進。



改修工事が完了したため池
（洲本市）



ため池監視システム展示場の開設
（明石市）

(2) 山地防災・土砂災害対策の推進

ア 第 4 次山地防災・土砂災害対策計画（R3～R7）の推進

激甚化・頻発化する山地災害に対応するため、人家等の保全や流木・土砂流出防止対策として治山ダム等の整備を推進。

イ 減災対策の推進

山地災害による被害を軽減するため、避難行動に役立つ危険情報の提供や防災知識の普及啓発により地域防災力の向上を図る。



市街地を保全する治山ダム
（神戸市）

(3) 漁港の耐震化と津波・高潮防災対策の推進

ア 生産活動を支える漁港の整備・保全

地震発生後における漁業活動の継続性を確保するため、岸壁等の耐震化実施。

また、既存施設の老朽化に対応するため、漁港施設の長寿命化対策を計画的に推進。

イ 津波・高潮防災対策の推進

巨大地震による津波に備えるため、沿岸部の特性に応じた効果的、効率的な津波対策を実施。

また、護岸や陸閘等海岸保全施設の長寿命化対策の取組により防災機能を維持。



沼島港口水門の施工状況
（南あわじ市）

[参考]

指 標	現状 (R4)	中間 (R7)	目標 (R12)
ため池整備により安全性が向上した箇所数(箇所[累計])	136	232	382
山地災害危険地区の防災工事の着手済箇所数(箇所)	3,797	3,710	3,900
主要岸壁の耐震化、津波・高潮防災対策済漁港数(漁港)	12	13	16

施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
	2,402,783	33,529	2,255,827	0	113,427

10 豊かな森づくりの推進

(1) 森林の保全と再生をめざす「新ひょうごの森づくり」の推進

ア 人工林の間伐の推進

手入れ不足のスギ・ヒノキ人工林の適正な管理を徹底するため、市町と連携した間伐や、市町による森林環境譲与税を活用した奥地等の条件不利地にある森林の間伐を促進。

イ 里山林の再生

集落周辺の生活環境や里山林の景観の改良、森林生態系の保全を進めるため、地域住民や森林ボランティアによる里山林整備を支援し、地域に身近な里山林の再生を促進。



間伐木を利用した土留工
(多可町)

(2) 森林の防災機能の強化を図る「災害に強い森づくり」の推進

記録的な豪雨や台風による被害の甚大化・頻発化を踏まえ、森林の防災機能を強化するため、県民緑税を活用し、流木被害の軽減を図る災害緩衝林の造成や、人家等への倒木の危険のある大径木の伐採等の災害に強い森づくりを推進。

[参考]

指 標	現状 (R4)	中間 (R7)	目標 (R12)
新ひょうごの森づくり整備済面積(千 ha)	168	191	225
災害に強い森づくり整備済面積(千 ha)	41	46	52
森林病虫害被害(松枯れ)面積(ha)	606	650	500

基本
方向

施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
	120,176	29,362	0	0	90,814

Ⅲ
「農」の
恵みによる
健康で豊かな
暮らしの充実

11 食と「農」に親しむ楽農生活の推進

(1) 多様な楽農生活実践機会の創出と魅力アップ

気軽に身近で楽農生活を実践する機会を拡げるため、市民農園やオープンファームなど農林水産業を理解し、体験できる施設の整備・利用促進の取組を支援。

(2) 互いに支え合える関係づくりの推進

「農」に対する消費者の理解醸成や生産者の販路拡大を図るため、農業体験や援農などを通じた生産者と消費者の交流と定期的・継続的な生産物の販売を行う CSA (Community Supported Agriculture) の手法を用いた取組を支援。

(3) 定住・二地域居住の促進や楽農生活実践の拡大

田園回帰の気運の高まりに伴う定住・二地域居住や半農半X等を志向する県民の楽農生活の実践拡大に向け、半農半X等「農」に携わる人材確保の体制整備や田舎暮らしの充実のための農園整備を支援。

[参考]

指 標	現状 (R4)	中間 (R7)	目標 (R12)
楽農生活交流人口(万人)	1,129	1,160	1,224

施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
	3,717	1,217	0	0	2,500

12 「農」と多様な分野との連携強化

(1) 農福連携の取組強化

- ア 農福連携コーディネーターと福祉部局の農福連携推進員との連携により、農業者への福祉事業所の紹介やインターンシップの実施等による円滑なマッチングを実施。
- イ 連携モデル育成のため、取組開始時における知識の習得や農機具類の導入を支援。
- ウ 農福連携支援人材育成研修を実施し、県下各地に現場段階において農福連携の技術的な助言等ができる人材を確保・育成。

(2) 観光分野との連携強化

地域に人を呼び込み、ひょうごの「農」への消費者理解を深める「オープンファーム」の取組を推進。(再掲)

[参考]

指 標	現状 (R4)	中間 (R7)	目標 (R12)
農福連携取組件数(件)	300	260	300

III

「農」の恵みによる健康で豊かな暮らしの充実

施策の目的と概要	所要経費 の要求額	財 源 内 訳			
		国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源
	228,006	147,265	4,180	0	76,561

13 県民への農林水産物の安定供給と県産県消の推進

(1) 卸売市場を通じた安定供給の確保

- ア 県内卸売市場が、生鮮食料品の安定供給機能を果たすため、協力して効率的に集荷する取組や、製品の品質や特長を活かした企画提案など攻めの販売を促進。
- イ 生産から消費まで低温を保った流通体制を構築するため、卸売市場内のコールドチェーン確立に向けた施設整備を支援。

(2) 学校給食における県産食材の利用拡大

- ア 学校給食での県産食材の利用を推進するため、市町の教育委員会等に対し、アドバイザーを派遣。
- イ 県産食材を原料とする加工食品を利用する際の価格差補填などを実施。
- ウ 栄養教諭等の環境負荷低減に対する理解醸成や、有機農産物を継続的に利用する体制構築を推進。



給食用みそづくり体験
(太子町)

(3) 県産県消の拡大

- ア 直売所に出荷する農林水産物の生産施設整備支援や、販売手法等の専門知識を有するアドバイザーの派遣に加え、各直売所が SNS で発信する旬の商品情報等を集約して提供するなど、直売所の魅力づくりを推進。
- イ 日本型食生活を実践する「おいしいごはんを食べよう県民運動」の推進により、子どもから大人まで幅広い層に、本県農林水産業や地元食文化への理解を促進。

(4) 食品に対する消費者の信頼の確保

- ア 食品に対する消費者の信頼を確保するため、食品関連事業者等からの食品表示に係る相談対応や研修会の開催、消費者等から通報された事案に対する調査指導等を実施。
- イ 一般社団法人兵庫県食品産業協会と連携し、食品関連事業者等が食品衛生・品質管理手法を導入する取組を推進。

[参考]

指 標	現状 (R4)	中間 (R7)	目標 (R12)
直売所の利用者数(万人)	2,754	3,580	4,180

令和6年度予算要求一覧表

(一般会計)

(単位:千円)

課名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	一般財源	
総務課	166,634	65,584	0	18,500	0	47,084	
総合農政課	1,705,172	1,729,210	751,918	358,588	0	618,704	
農業経営課	2,118,831	2,166,070	1,729,847	157,106	34,700	244,417	
流通戦略課	465,423	538,710	444,173	2,499	0	92,038	
農林経済課	61,439	62,042	0	635	0	61,407	
農業改良課	428,858	813,806	277,495	61,597	285,200	189,514	
農地整備課	18,582,553	18,875,105	13,089,331	838,264	3,778,100	1,169,410	
農産園芸課	493,504	399,707	170,797	59,859	40,200	128,851	
畜産課	558,695	1,002,014	642,014	28,019	53,400	278,581	
林務課	25,659,048	23,330,016	1,556,639	19,805,217	820,300	1,147,860	
治山課	17,303,316	17,795,168	1,814,484	1,907,472	3,583,800	10,489,412	
水産漁港課	3,284,248	3,331,827	1,428,400	141,774	1,036,000	725,653	
計	70,827,721 …A	70,109,259 …B	21,905,098	23,379,530	9,631,700	15,192,931	B/A(%) 99.0

令和6年度予算要求一覧表

(県有環境林等特別会計)

(単位:千円)

課名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	繰越金	
林務課	17,522	17,613	0	17,612	0	1	
治山課	7,323,915	7,535,312	0	7,535,312	0	0	
計	7,341,437	7,552,925	0	7,552,924	0	1	

(勤労者総合福祉施設整備事業特別会計)

(単位:千円)

課名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	繰越金	
農産園芸課	287,528	290,748	0	290,747	0	1	
治山課	292,928	283,324	0	283,323	0	1	
計	580,456	574,072	0	574,070	0	2	

(農林水産資金特別会計)

(単位:千円)

課名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	繰越金	
農業経営課	9,610	4,353	0	4,353	0	0	
農林経済課	44,232	44,573	0	41,296	0	3,277	
畜産課	1,581	1,899	0	1,899	0	0	
林務課	584,616	581,777	0	501,707	0	80,070	
治山課	22,550	22,550	0	22,550	0	0	
水産漁港課	311,220	286,568	0	204,393	0	82,175	
計	973,809	941,720	0	776,198	0	165,522	

(特別会計 合計)

(単位:千円)

	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財源内訳				備考
			国庫支出金	特定財源	起債	繰越金	
農林水産部計	8,895,702 …A	9,068,717 …B	0	8,903,192	0	165,525	B/A(%) 101.9

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(一般会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事項名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明				
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源					
公 共 事 業 費 (農 地 整 備 課) (農 業 改 良 課) (林 務 課) (治 山 課) (水 産 漁 港 課) (農 業 経 営 課)	19,617,877	19,617,877	10,876,720	834,642	6,537,200	1,369,315	新たな社会資本整備に取り組むにあたっては、「支える」「備える」「つなぐ」の観点により評価と選択を行い、真に必要な社会資本を整備する。 また、計画の策定や建設から維持管理に至るまでの各方面で地域住民等の参画と協働を進める。				
								区 分	令和5年度 当初予算額 (a)	令和6年度 予算要求額 (b)	(b) / (a) %
								農 業 農 村	11,045,179	11,045,179	100.0
								造 林	1,541,000	1,541,000	100.0
								林 道	618,698	618,698	100.0
								治 山	3,794,000	3,794,000	100.0
								漁 港	1,569,000	1,569,000	100.0
								漁場整備開発	887,000	887,000	100.0
								通常公共計	19,454,877	19,454,877	100.0
								経営構造対策	55,000	55,000	100.0
								林業構造改善	2,000	2,000	100.0
								漁業構造改善	106,000	106,000	100.0
								構造改善計	163,000	163,000	100.0
								一般公共 合計	19,617,877	19,617,877	100.0

※県費随伴補助を含む

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(一般会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事項名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明																
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源																	
災 害 復 旧 事 業 費 (農 地 整 備 課) (林 務 課) (治 山 課) (水 産 漁 港 課)	4,005,044	4,005,044	3,963,462	0	38,500	3,082																	
公共農林水産施設災害復旧費																							
				<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>令和5年度 当初予算額 (a)</th> <th>令和6年度 予算要求額 (b)</th> <th>(b) / (a) %</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>過 年 災</td> <td>5,044</td> <td>5,044</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>現 年 災</td> <td>4,000,000</td> <td>4,000,000</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,005,044</td> <td>4,005,044</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	令和5年度 当初予算額 (a)	令和6年度 予算要求額 (b)	(b) / (a) %	過 年 災	5,044	5,044	100.0	現 年 災	4,000,000	4,000,000	100.0	計	4,005,044	4,005,044	100.0
区 分	令和5年度 当初予算額 (a)	令和6年度 予算要求額 (b)	(b) / (a) %																				
過 年 災	5,044	5,044	100.0																				
現 年 災	4,000,000	4,000,000	100.0																				
計	4,005,044	4,005,044	100.0																				

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(一般会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事項名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(総合農政課) 地域農林 漁業確立 推進費	136,167	243,116	233,978	0	0	9,138	<p>異業種との連携や6次産業化の取組を支援し、地域資源の活用や県産農林水産物の新たな価値創造の取組を推進する。</p> <p>1 「農」イノベーションひょうご推進事業費 222,974</p> <p>2 6次産業化推進支援事業費 16,528</p> <p>3 ひょうご農林水産ビジョン推進費等 3,614</p>
(総合農政課) 楽農生活 推進費	146,886 (148,840)	142,070	36,707	5,142	0	100,221	<p>暮らしの中で食と農に親しみ、より人間らしく豊かに生きるための行動を「楽農生活」と位置づけ、県民誰もが収穫の喜びや自然とのふれあいを通して、ゆとりとやすらぎを実感できるライフスタイルの実現を目指す。</p> <p>1 ひょうご市民農園整備推進事業費 30,150</p> <p>2 楽農学校事業費 14,966</p> <p>3 兵庫楽農生活センター維持管理費 71,896</p> <p>4 (新)CSA手法拡大支援事業費 2,388</p> <p>5 (新)ひょうごオープンファーム強化事業費 10,283</p> <p>6 「農」に携わる人材確保事業費等 12,387</p>

※ 令和5年度当初予算額欄は、上段に事項組替後の金額を、下段に当該事項の令和5年度当初予算計上額を()書きした。

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(一般会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事項名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(農業経営課) 農村地域農政 総合推進 事業費	1,719,049	1,803,844	1,402,397	156,912	30,100	214,435	<p>農業者・団体による地域農業振興のための自主的な努力を助長するとともに、農地の有効利用及び流動化の促進と効率的かつ安定的な経営体の育成を図る。</p> <p>1 新規就農者確保事業費 693,774</p> <p>2 農業施設貸与事業費 100,869</p> <p>3 雇用就農促進事業費 15,000</p> <p>4 農業経営スマート化促進事業費 128,000</p> <p>5 いきいき農地バンク方式推進事業費 37,317</p> <p>6 農地有効活用総合対策事業費 35,500</p> <p>7 機構集積協力金交付事業費 294,000</p> <p>8 経営所得安定対策直接支払推進事業費 265,591</p> <p>9 地域計画策定推進緊急対策事業費 115,550</p> <p>10 県産農産物拡大応援事業費等 118,243</p>
(農業経営課) 農地中間 管理事業費	344,557	307,109	278,700	82	0	28,327	<p>効率的かつ安定的な農業経営を行う者に対して農地の集積・集約化を進めることで、農業経営の規模拡大、農地の集団化等の促進を図る。</p> <p>農地中間管理機構集積等支援事業費 307,109</p>

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(一般会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事項名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(流通戦略課) ひょうごの 「食」ブラン ド推進費	465,423	538,710	444,173	2,499	0	92,038	<p>消費者に信頼される県産農林水産物の生産、流通、消費を拡大するため、県内産地のブランド化による付加価値の向上と競争力の強化を推進する。</p> <p>1 ひょうご食品認証事業費 9,634</p> <p>2 輸向向けHACCP等対応施設整備事業費 301,000</p> <p>3 卸売市場施設整備事業費 118,907</p> <p>4 学校給食県産食材供給拡大事業費 5,796</p> <p>5 食品表示信頼確保対策事業費 20,062</p> <p>6 食品企業安全・安心対策指導事業費 4,858</p> <p>7 米流通安定・消費推進事業費 27,641</p> <p>8 ひょうご「農」「食」輸出拡大加速化事業費 14,170</p> <p>9 百貨店・商社等連携流通拡大促進事業費 2,062</p> <p>10(新) 県産有機農産物学校給食活用促進事業費 1,920</p> <p>11 地域直売所整備促進事業費等 32,660</p>
(農業改良課) 農業改良普及 センター運営費	117,062	115,022	21,686	23,283	0	70,053	<p>農業改良普及センターを維持・運営し、農林水産ビジョンの目標を達成するため、普及指導員が直接農業者に農業技術及び経営の指導を行う農業改良普及事業を実施する。</p> <p>1 ひょうごの「農」ブランド強化コーディネート事業費 22,097</p> <p>2 地域農業改良普及センター維持運営費等 92,925</p>

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(一般会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事項名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(農業改良課) 環境創造型 農業推進費	167,328	192,910	178,113	3,000	0	11,797	<p>農業の環境への負荷を軽減し、人と環境にやさしい持続可能な農業を進めるため、環境創造型農業を推進する。</p> <p>1 環境にやさしい農業の面的拡大推進事業費 79,112</p> <p>2 環境保全型農業直接支払交付金 95,479</p> <p>3 環境創造型農業パワーアップ事業費 10,291</p> <p>4 (新)地域有機農業塾開設支援事業費 3,750</p> <p>5 ひょうご食品認証事業費等 4,278</p>
(農業改良課) 病虫害発生 予察管理 事業費	28,152	21,659	19,985	0	0	1,674	<p>病虫害による農作物の被害を未然に防止するため、病虫害の発生状況を調査し、効率的かつ効果的な防除を推進する。</p> <p>1 病虫害発生予察推進事業費 13,809</p> <p>2 病虫害防除費等 7,850</p>
(農業改良課) 農業大学校 維持運営費	50,229	416,786	41,468	31,314	251,200	92,804	<p>兵庫県立農業大学校において、実践学習を基本に農業に関する幅広い知識や技術を修得させ、地域農業の担い手と指導者を養成を推進する。</p> <p>1 (新)有機農業アカデミー(仮称)開設事業費 365,000</p> <p>2 農業大学校維持運営費等 51,786</p>
(農地整備課) 中山間地域 対策推進費	1,217,197 (1,215,243)	1,257,930	911,600	3,465	0	342,865	<p>中山間地域における継続的な農業生産活動等を支援し、多面的機能の確保を図る。</p> <p>1 中山間地域等直接支払交付金 854,655</p> <p>2 中山間地域等直接支払推進事業費 17,888</p> <p>3 新山村振興等農林漁業特別対策事業費 381,922</p> <p>4 ひょうごの棚田保全・活性化事業費等 3,465</p>

※ 令和5年度当初予算額欄は、上段に事項組替え後の金額を、下段に当該事項の令和5年度当初予算計上額を()書きした。

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(一般会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事項名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(農産園芸課) 主要農作物 生産・供給 対策費	84,833	62,620	6,419	4,958	14,600	36,643	<p>水稻・麦・大豆等主要農作物の生産性及び品質の向上等を図るため、栽培技術の改善指導、営農条件の整備等を行う。</p> <p>1 ひょうごの酒米海外戦略推進事業費 9,000</p> <p>2 酒米高品質モデル確立事業費 2,659</p> <p>3 主食米のための新たな品種対策事業費 33,974</p> <p>4 (新)SDGs酒米・酒生産支援事業費 4,519</p> <p>5 主要農作物競争力強化対策事業費等 12,468</p>
(農産園芸課) 野菜振興 対策費	155,167	204,190	159,477	0	22,800	21,913	<p>本県野菜産地の育成、生産拡大を図るとともに、価格安定、需給調整を行うことにより、野菜の安定供給と生産農家の経営安定を図る。</p> <p>1 ひょうご施設園芸産地競争力強化対策事業費 102,300</p> <p>2 ひょうごのGAP拡大推進加速化事業費 3,327</p> <p>3 国指定産地野菜価格安定対策事業費 5,015 〔債務負担行為額 390,301〕</p> <p>4 特定野菜等供給産地育成価格差補給事業費 6,382</p> <p>5 ひょうごの野菜作導入促進事業費 5,000</p> <p>6 県産野菜新産地拡大支援事業費 5,305</p> <p>7 野菜産地育成推進事業費等 76,861</p>

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(一般会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事項名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(農産園芸課) 花き・果樹 特産振興 対策費	253,504	132,897	4,901	54,901	2,800	70,295	花き、果樹及び特用作物等の生産振興並びに出荷の円滑な推進を図る。 1 県立公園あわじ花さじき管理 運営費 113,597 2 ひょうごの花づくり推進事業費 7,874 3 県産花き販売促進事業費 1,658 4 ひょうご果樹産地好循環構築事業費 3,362 5 花き・果樹特産・景観園芸振興 対策事業費等 6,406
(畜産課) 肉畜振興 対策費	111,036	112,826	36,480	4,072	0	72,274	肉用牛の改良増殖の関係事業をはじめ、技術指導及び経営改善指導等を実施する。 1 優秀種雄牛造成対策費 34,375 2 ゲノム情報を活用した但馬牛 改良推進事業費 24,167 3 但馬牛受精卵移植推進事業費 4,673 4 但馬牛・神戸ビーフ発信力強化 事業費等 49,611
(畜産課) 酪農養鶏 振興対策費	17,494	516,335	505,436	4,617	0	6,282	酪農の振興を図るため、乳用牛の改良、酪農経営の改善及び乳質向上等の事業を実施するとともに、養鶏・養豚農家の経営安定を図るため、生産物の価格安定・ブランド力強化等の事業を実施する。 1 畜産GAP拡大推進加速化事業費 1,000 2 「ひょうごの酪農」生産力アップ 推進事業費 7,660 3 養鶏養豚振興対策事業費 500,516 4 県産豚・鶏卵等ブランド化 対策事業費等 7,159

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(一般会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事項名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(畜産課) 畜産環境 飼料対策費	153,803	3,514	0	156	0	3,358	<p>国内飼料の生産・利用や放牧を推進し、コスト低減型の畜産物生産を拡大するとともに、環境に配慮した資源循環型の畜産経営を育成する。</p> <p>1 環境保全型畜産確立推進事業費 1,158</p> <p>2 耕畜連携推進事業費 2,200</p> <p>3 飼料総合対策事業費等 156</p>
(畜産課) 家畜衛生 対策費	102,124	100,275	58,785	8,600	0	32,890	<p>家畜伝染病等の発生予防、病性鑑定等、動物用医薬品の販売・製造に対する指導及び許可を行う。</p> <p>1 家畜防疫事業費 33,832</p> <p>2 家畜防疫体制特別整備事業費 16,995</p> <p>3 重大家畜伝染病緊急防疫資材等確保対策事業費 25,139</p> <p>4 動物用薬事業費等 24,309</p>
(林務課) 林産流通 指導費	22,038,269	19,614,581	60,000	19,552,519	0	2,062	<p>県産木材の需要拡大を図るため、木材利用の普及啓発や木造住宅の建設促進並びに良質な県産木材の供給体制の整備を図る。</p> <p>1 兵庫県産木材利用促進特別融資事業費 50,000</p> <p>2 木材産業等高度化推進事業費 780,007</p> <p>3 兵庫県産木材利用木造住宅特別融資事業費 18,722,080</p> <p>4 森林資源活用システム整備事業費 60,000</p> <p>5 バイオマスヤード整備事業等事業費等 2,494</p>
(林務課) 森林整備 地域活動 支援事業費	18,575	13,998	1,455	7,877	0	4,666	<p>森林の有する多面的機能を発揮する観点から森林所有者等による計画的かつ一体的な施業が行われるよう地域における活動を支援する。</p> <p>1 森林整備地域活動支援交付金 13,778</p> <p>2 森林整備地域活動支援推進事業費 220</p>

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(一般会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事項名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(林 務 課) 林 業 労 働 対 策 費	75,874	71,255	35,959	8,375	0	26,921	<p>林業労働者の就労の安定、優秀な林業労働者の確保・育成及び林業作業の安全確保を図る。</p> <p>1 緑の青年就業準備給付金事業費 14,811</p> <p>2 兵庫県立森林大学校運営費 46,950</p> <p>3 林業関係団体総合対策事業費等 9,494</p>
(林 務 課) 森 林 環 境 対 策 費	224,419	190,130	0	190,130	0	0	<p>温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林環境譲与税を活用し、市町が実施する森林整備等を支援する。</p> <p>森林環境譲与税活用事業費 190,130</p>
(林 務 課) 県 単 独 林 道 事 業 費	250,607	390,942	0	0	311,600	79,342	<p>県営林道の整備を促進するため、開設、改良、路網拠点の設置等を行う。</p> <p>1 県単独林道整備事業費 274,400</p> <p>2 路網拠点林道整備事業費 66,000</p> <p>3 林道管理費等 50,542</p>
(治 山 課) 森 林 害 虫 駆 除 予 防 事 業 費	85,028	83,080	20,569	0	0	62,511	<p>森林病虫害等防除法に基づき松くい虫等の駆除及び被害の防止を図る。</p> <p>1 森林害虫予防事業費 3,732</p> <p>2 森林害虫駆除事業費 70,195</p> <p>3 「ひょうご元気松」10万本 植栽事業費 1,100</p> <p>4 森林害虫予防推進費等 8,053</p>

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(一般会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事項名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(治 山 課) 新ひょうご の森づくり 推 進 費	56,303	56,696	5,845	4,447	0	46,404	<p>森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、県民と行政が一体となって森林整備を推進する。</p> <p>1 推進体制整備費 44,147</p> <p>2 普及啓発事業費 11,218</p> <p>3 森林・山村多面的機能発揮対策推進事業費 1,331</p>
(治 山 課) 県 単 独 治 山 事 業 費	265,000	265,000	0	0	264,000	1,000	<p>国庫補助事業の対象とならない小規模な荒廃溪流や山腹崩壊地の復旧、治山施設の維持管理を行う。</p> <p>県単独治山事業費 265,000</p>
(治 山 課) 県 単 独 緊 急 防 災 事 業 費	1,480,000	1,500,000	0	0	1,500,000	0	<p>国庫補助事業の対象とならない荒廃林地下流での流木・土砂流出防止対策が必要な箇所へ治山ダム等の設置を行う。</p> <p>県単独治山ダム緊急整備事業費 1,500,000</p>
(治 山 課) 災 害 に 強 い 森 づ くり 推 進 費	1,761,347	1,886,829	0	1,886,829	0	0	<p>台風災害等を踏まえ、森林の防災面での機能強化を早期・確実に進めるため、県民緑税を活用した「災害に強い森づくり」を推進する。</p> <p>1 緊急防災林整備事業費 683,523</p> <p>2 針葉樹林と広葉樹林の混交整備事業費 294,000</p> <p>3 里山防災林整備事業費 528,360</p> <p>4 野生動物共生林整備事業費 291,946</p> <p>5 都市山防災林整備費 61,000</p> <p>6 住民参画型森林整備費 28,000</p>

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(一般会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事項名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	一般財源	
(水産漁港課) 水産業振興 対策費	36,761 (40,561)	32,994	14,162	180	0	18,652	水産業の振興を図るため、水産資源の培養と資源管理を推進する。 1 内水面資源維持対策事業費 1,935 2 美味しいひょうごのさかな情報発信事業費 2,410 3 漁業施設貸与事業費 21,780 4 ノリ養殖生産安定化事業費 1,900 5 マダコ種苗生産技術開発事業費 2,000 6 水産業振興団体分担金等 2,969
(水産漁港課) 水産環境 保全対策費	21,843	20,920	6,517	0	0	14,403	豊かな海と持続的な水産業の実現に向け、安全安心な水産物の推進、漁場環境の保全に取り組む。 1 水産物安全確保対策事業費 4,782 2 重要赤潮被害防止対策事業費 2,226 3 瀬戸内海生産構造調査事業費 3,144 4 漁場栄養添加促進事業費 3,800 5 漁場環境観測システム維持運営事業費等 6,968
(水産漁港課) 漁港管理費	67,072	66,853	0	34,782	0	32,071	県管理漁港の管理や市町管理漁港の管理指導のほか、漁港の安全確保に必要な調査等を実施する。 1 県有資産所在市町交付金 20,271 2 漁港管理費等 46,582
(水産漁港課) 県単独漁港 改良費	58,577	58,577	0	600	2,500	55,477	県管理漁港の改築等に伴う公共事業の対象にならない関連工事、維持修繕及び漁港海岸の安全対策等を実施する。 1 漁港維持修繕事業費 46,000 2 漁港改良事業費 4,000 3 漁港調査費等 8,577

※ 令和5年度当初予算額欄は、上段に事項組替え後の金額を、下段に当該事項の令和5年度当初予算計上額を()書きした。

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(勤労者総合福祉施設整備事業特別会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事項名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	繰越金	
(治 山 課) 三 木 山 森 林 公 園 管 理 運 営 費	111,187	109,113	0	109,112	0	1	<p>多様な森林を育成し、豊かな森の中で勤労者をはじめ広く県民の文化活動及びレクリエーション活動の促進を図り、人と森とのふれあいを深める。</p> <p>1 指定管理料 108,811</p> <p>2 森林保険費等 302</p>
(治 山 課) 自 然 活 用 型 野 外 C S R 事 業 運 営 費	181,741	174,211	0	174,211	0	0	<p>森林の保全と創造を進めるとともに、地元住民と都市住民、世代間交流の場、親子・家族のふれあいの場を提供し、人と自然が共生する豊かな森づくりを推進する。</p> <p>1 やしろの森公園運営費 26,739</p> <p>2 ささやまの森公園運営費 24,968</p> <p>3 なか・やちよの森公園運営費 29,123</p> <p>4 ゆめさきの森公園運営費 26,832</p> <p>5 国見の森公園運営費 30,464</p> <p>6 宝塚西谷の森公園運営費 30,139</p> <p>7 修繕工事費等 5,946</p>

令和6年度予算要求額の概要(主要事項)

(農林水産資金特別会計)

(単位:千円) (農林水産部)

事 項 名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 予算要求額	財 源 内 訳				概 要 説 明
			国庫支出金	特定財源	起 債	繰越金	
農 業 制 度 金 融 事 業 費 (農 業 経 営 課) (農 林 経 済 課) (畜 産 課)	42,324	43,200	0	43,199	0	1	<p>農業経営の近代化、生活環境の整備、経営改善等を図るため、融資機関が農業者に融通した資金に対する利子補給を行う。</p> <p>1 美しい村づくり資金等利子補給費 38,096</p> <p>(1) 現 年 分 6,401</p> <p>(2) 債務負担分 (過年度貸付分) 31,270</p> <p>(3) 事務費等 425</p> <p>2 畜産特別資金利子補給費 1,765</p> <p>3 兵庫県農業信用基金協会 特別準備金積立金 659</p> <p>4 貸付事務費 2,680</p>
(林 務 課) 林 業 ・ 木 材 産 業 改 善 資 金 貸 付 金	100,388	100,417	0	20,417	0	80,000	<p>林業及び木材産業の経営改善や林業従事者の労働安全の確保等を図る取組に対する資金の貸付を行う。</p> <p>1 林業・木材産業改善資金貸付金 100,000</p> <p>2 林業就業促進資金貸付金 417</p>